



羽合小学校 学校通信

平成26年4月14日 NO.5

理解を深めることの大切さ

私は6年前まで中学校に勤務し、剣道部を指導していたこともあって、中学生の指導から離れた今も大会などの結果に興味深く見る必要があります。中学校では毎年8月に行われる全国中学校総合体育大会（全中）が中学校の公式戦としては最も権威ある大会です。全国各地の中学生が全国制覇を目指して6月から始まる地区予選（総体予選）に臨みます。

全国の中学校の中で、近年最も注目を浴びているのが新潟県の燕市立燕中学校です。女子団体戦でこの10年に5度の優勝、2度の3位、2度のベスト8、予選リーグで負けたのは1度だけという圧倒的な力量を持つチームです。

私も6年前に姫路で行われた若鷲旗剣道大会でご一緒しましたが、さすが、技量、行動いずれも全国優勝するにふさわしい立派なチームだと思いました。

このチームの顧問の堀田先生は「文字による全国制覇」ということを言われます。一体何のことでしょうか。チームを強くするためには技術や体力の向上は当然のことで、練習が最も大切なことだと思いますが、文章や言葉による指導が大切だということです。

これは、物事を身に付けようとするときは、何のために取り組むのか、どのように取り組むのか、ねらいや方法を明確にしてとりくむことが重要で、ただ闇雲にやってみても成果は望めない。そのために言葉による理解が大切だということなのです。

こどもたちの理解が大切なのは剣道だけではなく、学校での生活も、勉強も、友達との関係や地域や家庭での生活も、あらゆるところで理解すること「わかる」ことが大切です。No. 4では「つかえる」ことの大切さを述べましたが、そのスタートは「わかる」ということです。わかれば「できる」ようになります。できるようになると「つかえる」ようになります。

わたしたちの羽合小学校はこどもたちの理解を深めることを大切にしたいと思っています。

こどもたちが理解し、理解を深めることができるように、わたしたち教職員も保護者も研鑽していかなければ、こどもたちの力は伸びていかないのだと深く自覚したいものです。

さて、全国制覇への一步を・・・

新潟県の中学校の話をしましたので、新潟県出身の山本五十六さんの名言を思い出しました。

「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」

「やってみせる 言って聞かせる」まさに理解させること、そこがスタートなのだという意味だと思います。

さて、みなさん 「おはようございます」に取り組んでみませんか。

羽合小学校 寺谷英則